

新型アルファード/ヴェルファイアに対応した多彩なラインアップ



VIPカーにピッタリの プレミアム感

センターのオーナメントから放射状にスポークが広がり、マルチピースの証であるピアスポルトがリム全周にあしらわれ見る者にインパクトを与える。クラシカルさと斬新さを兼ね備えた唯一無二のデザインが足元を彩る。

クロームメッキ・C

EMITZ [イミツ]

価格：8万9100～13万5300円 サイズ：19×7.5J インセット33～21×8.5J インセット31
カラー：ブラックカットクリア・BP、クロームメッキ・C



3ピースメッシュの 正統派を足元に

15交点メッシュのディスクをアウターリムとインナーリムで挟み込む3ピースホイール。ピアスポルトのバリエーションや、リムアレンジとディスクカラーの豊富さはマルチピースホイールならではのものだ。

シルキーリッチシルバー・SRS

VS XV [ブイエス エックスブイ]

価格：8万5800～13万5300円 サイズ：18×7.0J インセット34～21×8.0J インセット58
カラー：シルキーリッチシルバー・SRS、プリリアントシルバーブラック・BSB、マットダークガンメタ・MDG



シンプルさのなかに こだわりの造形を凝縮

センターパートからスポークエンドまで美しい曲線を描くラウンドディスクデザイン。一見シンプルながら、スポーク先端にアンダーカットを入れたり、ピアスポルトの間をへこませたりと、細部のディテールにこだわった。

グリミットブラック・GTK

Lanvec LM7 [ランベック エルエムセブン]

価格：9万1300～11万円 サイズ：20×8.0J インセット35～21×8.5J インセット35
カラー：GRシルバーカットクリア・GRP、グリミットブラック・GTK



美しい6スポークが 存在感を醸し出す

センターホールからリムフランジに向かって伸びやかにコンケイブを描く6本のスポークと、スポークの間に配されたピアスポルトがリムの深さと立体感を演出。なお、ワークの2ピース&3ピースホイールはすべて日本製だ。

ブラッシュド・BRU

ZEAST ST1 [ジースト エスティーワン]

価格：9万7900～13万3100円 サイズ：20×8.0J インセット35～21×8.5J インセット35
カラー：トランスグレーポリッシュ・TGP、マットブラック・MBL、ブラッシュド・BRU



ワーク初のトリプル デザインディスク

オープンメッシュ、ツインスポーク、フィンが折り重なるトリプルデザインディスクを採用。モデル名のSCHWERT(シュヴァート)は剣のことで、美しく繊細なカーブを描くブレード状のスポークが鋭い剣を彷彿(ほうふつ)とさせる。

グリミットシルバー・GTS

SCHWERT SG2 [シュヴァート エスジーツー]

価格：8万1400～11万2200円 サイズ：19×7.5J インセット32～21×8.5J インセット36
カラー：ブラックカットクリア・BP、グリミットシルバー・GTS

ワーク WORK

ワーク

Sponsored by ワーク

☎048-688-7555 (東日本コールセンター)

☎06-6746-2859 (西日本コールセンター)

☎052-777-4512 (中日本コールセンター)

www.work-wheels.co.jp/

先代を上回る高級感を身にまとい登場した新型アルファード/ヴェルファイア。そんな高級ミニバンの王者の足元を飾るホイールを多彩なバリエーションでラインアップするのがワークだ。 文=湯目由明 text by Yoshiaki Yunome

高い技術力と職人技の融合

ステアリングを握るドライバーを高揚させるリニアなハンドリングと、所有欲をそそる華麗なスタイリング。社名が Artwork (芸術作品) に由来する老舗ブランドの WORK (ワーク) では、モータースポーツで鍛え抜いた高い技術力をバックボーンに、新型アルファード/ヴェルファイアの足元にフィットする格調高く個性的なデザインと、多様なニーズに応える豊富なサイズバリエーションの高品質ホイールをそろえる。ワークが得意とする組み立てホイールの極致といえるのが、ディスク部とアウター/インナーリムが別体になった3ピース構造の「VS XV」。繊細な15交点メッシュデザインを固定する全周ピアスポルト、マルチピースホイールの生命線である高強度・高剛性の特許技術を注いだ「ワーク・ソリッド・リム」が織り成す造形美が、新型アルファード/ヴェルファイアの世界観と調和する。

インセットやリム幅をミリ単位でオーダーでき、ディスクカラーやリムの仕様が選べるのもマルチピースの利点。ここで紹介するホイールは、いずれも3ピースと2ピースで、ホイールカスタムの奥深さを味わえる。ホイールを選ぶ際に留意したいのが、先代(30系)と新型(40系)ではP.C.D.(ボルト穴の中心線を結んで描かれる円の直径)が114・3→120に変更され、ハブボルト径が大きくなっていること。こうした変化に迅速に対応できるのは、ワークの誇るデザイン開発設計技術とそれをカタチにする職人の成せる技だ。